

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH

鳥取北ロータリークラブ

2019
2020

会 長……小林 弘尚 副会長……宮崎 正彦 幹 事……松本 啓介
 会 計……入江 容子 SAA……千金 周一 活動記録担当リーダー……森下 泰年



例会場:ホテルモナーク鳥取 例会日:火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■創 立:昭和36年2月23日 ■事務所:鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/

今週の例会

2019年11月12日(火) 四つのテスト 第2850回

◆ロータリーソング ◆卓話
 我らの生業 鳥取商工会議所青年部
 ◆献立 米山ミール 会長 石畑美幸 氏

次週の例会

2019年11月19日(火) 第2851回

◆ロータリーソング ◆卓話
 鳥取北R Cの歌 「米山月間について」
 ◆献立 田村文男さん
 カレーバイキング 「高知北R C報告」

先 週 の 例 会

2019年11月5日(火)

会長挨拶

先日、11月3日(文化の日)倉吉東R C(創立昭和44年6月 会員数49名)の創立50周年の式典に、松本幹事と共に鳥取北R Cの代表として参加してきました。

会場は倉吉シティホテルで、東部5クラブ代表も参加しておられました。来年は我がクラブも60周年の記念行事を控えており、興味深く参加させて頂きました。

受付後の記念講演は、横浜R C所属の北原照久氏(横浜ブリキの館館長)による記念講演で、内容といたしましては、【夢の実現】～10ヶ条の法則～という演題で、物の考え方、

捉え方を自分の経験を踏まえてわかりやすく話され、大変参考になり、感銘を受けました。ポイントは「プラス思考」「素直さ」「気遣い」等です。

その後、記念式典、記念祝賀会(鳥取県知事、倉吉市長 来賓)が挙行され、19時30分にお開きとなりました。

全体的な印象は事前によく準備された感じで、60周年に向けて大変参考になりました。

奨学金授与後、米山奨学生黄さんより一言挨拶がありました。

幹事報告

1. 到着文書

- 1) 地区ガバナーから地区大会の御礼
- 2) 日本ロータリー100周年実行委員から意識調査のお願い

2. 例会変更・メーキャップ情報

クラブ名	日にち・受付会場	
鳥取西R C	12.20(金)	ホテルニューオータニ鳥取
鳥取中央R C	12.23(月)	ホテルニューオータニ鳥取

クラブ名	日にち・受付会場	
倉吉R C	12.24(火)	倉信うつぶき支店
倉吉中央R C	11.27(水)	倉吉シティホテル
	12.18(水)	
米子R C	12.20(金)	ANAクラウンプラザホテル米子
米子中央R C	11.14(木)	ANAクラウンプラザホテル米子
境港R C	12.17(火)	アジアンレストランアグニ

3. その他連絡事項

- ・11月20日(水)の里山整備事業参加依頼

委員会報告

◎出席率報告

11月5日 会員47名中 欠席11名 76.60%

10月15日 補正後 欠席9名 80.85%

◎誕生日御祝

野田英明さん 入江容子さん

秦野諭示さん 堀いづみさん

◎クラブ運営福田委員長より

・高知北RC訪問の確認

・B級グルメ日程延期の件

*スマイル報告(本日4,000円 累計156,000円)

小林弘尚さん 11月となりました。今月は「ロータリー財団月間」と高知北クラブ訪問の月です。寒くなりました、風邪をひかないように。

松本啓介さん 11月3日に倉吉東RCの50周年記念祝賀会に参加し、何でも鑑定団の北原照久さんの講演を聞きました。夢の実現10箇条の話でしたが、何事もプラス思考が重要、ピンチはチャンスにあるとの話がありました。今月は、高知北訪問と里山整備事業があります。皆で楽しみましょう。

福田 収さん やっと稲刈りが終わりました。これからは、少しゆっくりしたいです。

当日欠席 1件

*2大御祝(本日4,000円 累計50,000円)

野田英明さん } 誕生日御祝
入江容子さん }

卓話

道上正規さん



「ロータリー情報」～言葉の力～

「ロータリーの友」令和元年8月号に都留文科大学英文科特任教授、松土 清氏の講演要旨が載っています。

先生が学生と対話して「何に幸せを感じるか」と尋ねると、一時代前の学生は立身出世の意識が高かったが、最近では「達成感」という言葉を使う。これは達成感に到達するまでのプロセスに、最大の幸福感を感じる。ロシアの小説家のドストエフスキーの言葉を引用して「幸福は幸福の中にあるのではなく、幸福を手に入れることの中にある」と説明しています。

戦後、不足、不便、不自由なことが多々あったが、そんなに不幸だったとは思わなかった。

不足から充足へ、不便から便利へ、束縛から自由へと、その変化のプロセスに多くの幸せを感じてきた。物質的な豊かさと引き換えに、我慢すること、支えあうこと、分け合うこと等、精神的な豊かさが弱くなってきた。しかし、先生はそれほど悲観しておられません。それを克服する理念が芽生えるはずであると考えています。

日本の「察する文化」に「相手を思いやる言葉」をたった一つ付け加えさえすれば、「言葉の力」で物質的豊かさから精神的豊かさへと重心を変えることができると考えています。

「台風19号の教訓」

台風19号は関東・甲信越・東北と広範囲な地域に甚大な被害をもたらしました。気象庁は台風上陸前から大雨特別警報を発令し、住民に異例の警告を出していました。しかし長野県や東北地方の河川氾濫が多発するとは住民は思いもよりませんでした。河川の決壊は7県の71河川128か所、土砂災害は20都県365か所、死者行方不明94人、家屋の浸水被害4万2000棟、ライフラインの甚大な被害等、想定をはるかに超えました。その原因は記録破りの豪雨によると言われています。

鳥取市の場合について、平成30年7月西日本豪雨災害を例に挙げて考えてみます。7月7日の0時頃、千代川の行徳水位観測所で、避難判断水位を超えて氾濫危険水位に迫ろうとしていました。鳥取河川国道事務所長は、市長に避難指示を出すように助言して、市長は避難指示を発令。この時には警戒レベル5の大雨特別警報は発令されていました。しかし全市域での避難率は数%とあまり高くありませんでした。幸運なことに犠牲者は出ませんでした。

ハザードマップで自分の住んでいる地域はどのような災害リスクがあるのか、土砂災害の危険か、浸水の危険か認識しておくこと。避難勧告や避難指示が出ているのに「まだ大丈夫だろう」というのが最も危険。とにかく早めに避難を心がけること。避難時期を逃してしまったら、1階から2階への「垂直避難」や高い建物の上方に避難して身の安全を図りましょう。

(担当 本家勇子)